

福岡県地球温暖化対策ワークブック 活用資料集 (中学生用)

地球温暖化対策ワークブックを使用する教員の皆さまの参考としていただくため、県内中学校へのアンケートを基に、実際に中学校で使用された事例をまとめた地球温暖化対策ワークブック活用事例をまとめました。

また、教科書の単元とワークブックとの関連を示した地球温暖化対策ワークブック活用表を併せて作成しました。

本資料集を御参照いただき、ぜひ授業等で地球温暖化対策ワークブックを御活用ください。

◆本資料集の構成

- 福岡県地球温暖化対策ワークブック 活用事例・・・１ページ～
県内中学校へのアンケートをもとに、中学校の授業等で、実際にワークブックを活用した事例についてまとめています。
※令和５年度までに使用した教科書での活用事例が掲載されています。
※単元名等は、アンケート回答欄に記載されていたものです。

- 福岡県地球温暖化対策ワークブック 活用表・・・５ページ～
中学生の社会、理科、保健体育、技術・家庭について、中学校で使用する教科用図書の単元・題材、学習指導要領と、ワークブックの内容との関連をまとめています。

福岡県地球温暖化対策ワークブック（中学生用）活用事例 （中学校へのアンケート結果から）

◆中学生

教科	単元名等	活用方法	ワークブック活用箇所
社会科	世界の諸地域（南アメリカ州）	世界の森林減少、森林開発について理解を深めるために、ワークブックを電子黒板で提示した。	11～12ページ 3（2）森林の減少
	日本の地理（気候）	ワークブックを活用し、SDGsの視点で地球温暖化に対してできる自校の取組を考えさせ、発表させた。	13～14ページ 4 地球温暖化に対してできること 緩和策とは・適応策とは
	日本の地域的特色（日本の様々な自然災害、自然災害に対する備え）	ワークブックの資料を参考に、ハザードマップや災害に対する備えについて調べた。	3～4ページ 2（1）災害の発生
	日本の地域的特色と地域区分（資源・エネルギーから見た日本の特色）	再生可能エネルギーについて、福岡県での事例を調べるために、ワークブックを資料として提示した。	23～24ページ 4（5）再生可能エネルギーの活用
	地球社会と私たち（地球環境問題、資源・エネルギー問題）	ワークブックの資料を参考に、地球温暖化の現状把握と対策について考えた。	7～8ページ 2（3）21世紀末の気象 9～12ページ 3 地球温暖化の原因 13～14ページ 4 地球温暖化に対してできること 緩和策とは・適応策とは

教科	単元名等	活用方法	ワークブック活用箇所
社会科	持続可能な未来の社会へ	SDGsと関連させながら、調べ学習の資料として活用し、レポートにまとめた。	全体
	持続可能な社会を目指して	教科書の記述の補助として活用した。	全体
	国際社会が抱える課題と私たち	ワークブックの「地球温暖化に対してできること」を活用し、意見交流を行った。	13～30ページ 4 地球温暖化に対してできること
	国際社会	再生可能エネルギーの利用について振り返りの学習に用いた。	23～24ページ 4 (5) 再生可能エネルギーの活用 35～36ページ <SDGsの視点で考えよう>
	貧困解消と環境保全	地球温暖化の授業の振り返りと宿題に用いた。	1～2ページ 1 地球温暖化とは何か 11～12ページ 3 (2) 森林の減少

教科	単元名等	活用方法	ワークブック活用箇所
理科	地球の明るい未来のために	「持続可能な社会」や「これからのわたしたちの暮らし」をテーマに調べ学習を実施し、発表した。	全体
	気象のしくみと天気の変化	地球温暖化対策（適応策）について学習し、ハザードマップを作成した。	3～4ページ 2（1）災害の発生 14ページ 4 地球温暖化に対してできること 適応策とは 25～26ページ 4（6）災害に備える
	地球と私たちの未来のために	ワークブック前半を用いて生徒に説明し、現在起きている環境問題を具体的に考えさせた。	1～12ページ 1 地球温暖化とは何か 2 地球温暖化の影響 3 地球温暖化の原因
	自然界のつながり	調べ学習の教材として、クロームブックからワークブックを開かせておいて活用した。	全体
	自然環境と人間 科学技術と人間	再生可能エネルギーについての理解を深めるために、ワークブックを使って調べ学習を行ったり、話し合ったりする学習を行った。	23～24ページ 4（5）再生可能エネルギーの活用
技術・家庭	エネルギー変換	エネルギー変換に関する技術について、環境的・経済的・社会的側面から意見発表を行った。	9～10ページ 3（1）化石燃料の利用 15～16ページ 4（1）住まい方の工夫 23～24ページ 4（5）再生可能エネルギーの活用

教科	単元名等	活用方法	ワークブック活用箇所
技術・家庭	衣食住の生活 持続可能な衣生活 住生活と自立	学習プリントや教科書の補足資料として活用した。	15～18ページ 4（1）住まい方の工夫 4（2）衣服の着方の工夫
	食事の役割 食生活と自立	調べ学習の教材として活用した。	19～20ページ 4（3）食生活の工夫
	私たちの食生活 日常食の調理	調理実習に向けて環境に配慮した調理についてワークブックの20ページを使って考え、実際に水や洗剤使いすぎないこと、汚れは先にキッチンペーパーで拭き取るなど、エコクッキングを行った。	19～20ページ 4（3）食生活の工夫
	私たちの衣生活 私たちの住生活	防災や減災についての理解を深めるために、家庭科の教科書で被災時への備えについて学習した後に、ワークブックを用いてハザードマップについて確認する学習を行った。	25～26ページ 4（6）災害に備える
総合	防災減災教育	掲載されている二次元コードをタブレット端末で読み取らせ、閲覧した。	3～4ページ 2（1）災害の発生
	持続可能な社会のために、私にできるアクション	SDGs学習において、自分にできるアクションや防災食について考えるための資料として活用し、防災食作りを計画した。	19～20ページ 4（3）食生活の工夫 25～26ページ 4（6）災害に備える
	環境問題について	地球温暖化の影響がどのようなところに現れているのか調べ、課題を解決するために何を行えばよいかレポートにまとめさせた。	3～8ページ 2（1）災害の発生 2（2）生物への影響 2（3）21世紀末の気象

福岡県地球温暖化対策ワークブック 活用表

目次

◆ 中学 社会※・・・7

帝国書院
教育出版
東京書籍
日本文教出版

◆ 中学 理科・・・12

大日本図書
東京書籍
学校図書
教育出版
啓林館

◆ 中学 保健体育・・・14

東京書籍
大日本図書
大修館書店
Gakken

◆ 中学 技術・家庭・・・15

東京書籍
教育図書
開隆堂

活用表では、教科書の単元（題材）と福岡県地球温暖化ワークブックで学習できる項目、学習指導要領（平成29年3月告示）との関連付けをそれぞれ行い、表形式で示しています。

活用表の見方については、次ページに示しています。

※社会科については、地理分野、歴史分野、公民分野の3分野全てを出版している教科書出版会社を対象として作成しています。

<活用表の見方>

福岡県地球温暖化対策ワークブック 活用表

②			③		④	
教科書（出版社）			ワークブック		学習指導要領 （平成29年3月告示）	
□□書院	□□出版	□□書籍	項目	ページ		
第1部 □□ 第3章 □□ 4節 □□ ○地球温暖化の影響と 対策 ・氷河の縮小，地球温 暖化，パリ協定	第1編 □□ 第3章 □□ ○原子力発電と環境問 題 ・地球温暖化と原子力 発電の安全性	第1編 □□ 第3章 □□ 2節 □□ ○EUの取り組み ・地球温暖化などの問 題	2 ・ (2)	△-▲	B(2) ○○	ア 次のような知識を 身に付けること。 (ア) □□を理解する こと。

<記載内容>

- ① 教科名 教科名を記載。
- ② 単元（題材） 教科書に記載されている単元または題材を，出版社別に記載。
- ③ ワークブック 教科書の各単元（題材）で学習する際に使用可能な地球温暖化対策ワークブックの項目，その項目のページを記載。
- ④ 学習指導要領 教科書の各単元（題材）に該当する学習指導要領（平成29年3月告示）の内容を記載。

福岡県地球温暖化対策ワークブック 活用表

中学校・社会

教科書（出版社）				ワークブック		学習指導要領 （平成29年3月告示）	
帝国書院	教育出版	東京書籍	日本文教出版	項目	ページ		
[地理的分野]						[地理的分野]	
第2部 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 第2節 ヨーロッパ州 ⑤ヨーロッパ州の工業とEUの影響 ・再生可能エネルギー （未来に向けて）脱炭素社会に向かうヨーロッパ ・脱炭素社会、再生可能エネルギー	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 2 ヨーロッパ州 ⑤持続可能な社会づくり 環境対策と再生可能エネルギー ・地球温暖化、化石燃料、石炭、石油、風力、太陽光、バイオマス、地熱、再生可能エネルギー	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 2節 ヨーロッパ州 ③持続可能な社会に向けて ・再生可能エネルギー、脱炭素社会、持続可能な社会	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 第2節 ヨーロッパ州 -国境をこえた統合をテーマに- ④国境をこえるエネルギーと環境問題 ・持続可能な社会、地球温暖化、風力発電、太陽光発電、バイオマス発電、再生可能エネルギー	4 地球温暖化に対してできること （5）再生可能エネルギーの活用	23～24	B(2) 世界の諸地域	ア 次のような知識を身に付けること。 （ア）世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解すること。
第2部 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 第4節 北アメリカ州 ⑤アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題 ・温室効果ガス、地球温暖化、太陽光、再生可能エネルギー			第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 第4節 北アメリカ州 -世界に影響をあたえる産業をテーマに- ⑤大量生産・大量消費の生活から持続可能な社会へ ・再生可能エネルギー、持続可能な社会	4 地球温暖化に対してできること （5）再生可能エネルギーの活用	23～24		
第2部 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 第5節 南アメリカ州 ④ブラジルにみる開発と環境保全 ・熱帯林の伐採、地球温暖化、バイオ燃料、持続可能な開発	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 5 南アメリカ州 ③アマゾン流域の地域開発 ・熱帯雨林の伐採、環境保全、持続可能な開発、森林破壊	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 5節 南アメリカ州 ③開発の進行と影響 ・熱帯雨林の伐採、バイオエタノール、再生可能エネルギー、持続可能な開発	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 第5節 南アメリカ州 -開発と環境保全をテーマに- ①南アメリカの自然環境と人々のかわり （持続可能な地域を目指して） 熱帯雨林の豊かな自然環境と経済発展 ・再生可能エネルギー、地球温暖化、カーボンニュートラル ③アマゾン川流域の開発と環境保全 ・熱帯雨林の消失、地球温暖化、バイオ燃料、持続可能な農業	3 地球温暖化の原因 （2）森林の減少	11～12		
第2部 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 第6節 オセアニア州 1 オセアニア州の自然環境 （未来に向けて）地球温暖化による影響と危機 ・海面上昇、地球温暖化、温室効果ガス		第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 6節 オセアニア州 節末（もっと知りたい）水没から国土を救え ・地球温暖化、海面上昇	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 第6節 オセアニア州 -多文化社会をテーマに- ③太平洋の島々の多様な文化と自然環境 ・温室効果ガス、地球温暖化、海面上昇	<はじめに> 地球温暖化について考えよう	①～②		

福岡県地球温暖化対策ワークブック 活用表

中学校・社会

教科書（出版社）				ワークブック		学習指導要領 （平成29年3月告示）	
帝国書院	教育出版	東京書籍	日本文教出版	項目	ページ		
[地理的分野]						[地理的分野]	
第3部 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色 ⑤自然災害に対する備え ・防災，減災，ハザードマップ （アクティブ地理）自然災害から命を守るよう	第3編 日本のさまざまな地域 第1章 地域調査の方法を学ぼう ⑤地域の防災について調べる ・ハザードマップ 第2章 日本の特色と地域区分 ⑥災害から身を守るために ・ハザードマップ，減災	第3編 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色 ④防災・減災に向けた取り組みと課題 ・防災，減災，ハザードマップ	第3編 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色と地域区分 ④災害にそなえるために ・防災対策，減災，ハザードマップ （持続可能な地域を目指して）ハザードマップを活用しよう	2 地球温暖化の影響 （1）災害の発生 4 地球温暖化に対してできること （6）災害に備える	3～4 25～26	C(2) 日本の地域的特色と地域区分	ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 （ア）日本の地形や気候の特色，海洋に囲まれた日本の国土の特色，自然災害と防災への取組などを基に，日本の自然環境に関する特色を理解すること。
第3部 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色 ⑦日本の資源・エネルギーと電力 ・地球温暖化，水力，風力，太陽光，地熱，バイオマス，再生可能エネルギー，省エネルギー，脱炭素社会，リサイクル，持続可能な社会	第3編 日本のさまざまな地域 第2章 日本の特色と地域区分 ⑨輸入に頼る資源・エネルギー ・地球温暖化，持続可能な社会，再生可能エネルギー，太陽光，風力，水力，地熱・太陽熱，バイオマス	第3編 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色と地域区分 ⑥資源・エネルギーから見た日本の特色 ・地球温暖化，再生可能エネルギー，リデュース，リユース，リサイクル 章末（もっと知りたい）日本の発電所を見てみよう ・太陽光発電，風力発電，地熱発電，バイオマス発電	第3編 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色と地域区分 ⑥資源・エネルギーから見た日本の地域的特色と地域区分 ・リサイクル，地球温暖化，太陽光発電，風力発電，地熱発電，再生可能エネルギー	3 地球温暖化の原因 （1）化石燃料の利用 4 地球温暖化に対してできること （5）再生可能エネルギーの活用	9～10 23～24		（ウ）日本の資源・エネルギー利用の現状，国内の産業の動向，環境やエネルギーに関する課題などを基に，日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解すること。
第3部 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方 ②火山と共にある九州地方の人々の生活 ・地熱発電所 第3節 近畿地方 ⑤環境に配慮した林業と漁業 ・地球温暖化 章末（アクティブ地理）地域に適した再生可能エネルギーを考えよう	第3編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 1 九州地方 ③特色ある自然と多様な農業（地理の窓）循環型農業を旨として ・バイオマスエネルギー	第3編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 1節 九州地方 ③自然を生かした生活や産業 ・太陽光発電，バイオマス発電，地熱発電，再生可能エネルギー	第3編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方-自然環境をテーマに- ②自然環境に影響を受ける人々の生活 ・地熱発電，太陽光発電	4 地球温暖化に対してできること （5）再生可能エネルギーの活用	23～24	C(3) 日本の諸地域	ア 次のような知識を身に付けること （ア）いくつかに分けた日本のそれぞれの地域について，その地域的特色や地域の課題を理解すること。
第3部 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方 ④都市や産業の発展と自然環境 節末（未来に向けて）自然環境の再生から資源循環型社会へ～工業の発展と公害をいち早く経験した福岡県北九州市～ ・資源循環型社会，再生可能エネルギー，SDGs，エコタウン	第3編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 1 九州地方 ④工業の移り変わりや環境保全 ・リサイクル，SDGs	第3編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 1節 九州地方 ④環境と開発の両立を目指して ・エコタウン，リサイクル，持続可能な社会	第3編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方-自然環境をテーマに- ⑤工業の変化と自然環境の保全 ・持続可能な社会，エコタウン，リサイクル，再生可能エネルギー				

福岡県地球温暖化対策ワークブック 活用表

中学校・社会

教科書（出版社）				ワークブック		学習指導要領 (平成29年3月告示)	
帝国書院	教育出版	東京書籍	日本文教出版	項目	ページ		
[地理的分野]						[地理的分野]	
第4部 地域のあり方 第1章 地域のあり方 ・持続可能な社会, SDGs	第3編 日本のさまざまな地域 第4章 地域のあり方 ・持続可能な地域づくり	第3編 日本のさまざまな地域 第4章 持続可能な地域の在り方 ・SDGs	第3編 日本のさまざまな地域 第4章 地域のあり方-宮崎市を例に ・SDGs	5 自分たちにできることを計画して実践しよう	31～36	C(4)地域の在り方	ア 次のような知識を身に付けること (ア) 地域の実態や課題解決のための取組を理解すること。
[歴史的分野]						[歴史的分野]	
第7章 現在に続く日本と世界 第3節 これからの日本と世界 3 国際社会におけるこれからの日本 ・脱炭素社会, パリ協定, 地球温暖化, 持続可能な社会, SDGs これからの社会を構想しよう ・SDGs	第7章 現代の日本と世界 3節 冷戦の終結とこれからの日本 ①私たちの生きる時代へ ・集中豪雨, 自然災害, オゾン層の破壊, 酸性雨, 砂漠化, 森林の減少, プラスチックごみの処理問題, 温室効果ガスによる地球温暖化 歴史学習の終わりに ～歴史を振り返って, 未来を構想しよう～ ・SDGs	第7章 現代の日本と私たち 3節 新たな時代の日本と世界 ③持続可能な社会の実現に向けて ・地球温暖化, 持続可能な開発目標(SDGs), 持続可能な社会(もっと知りたい) 日本のエネルギーのこれまで ・地球温暖化, 温室効果ガス, 再生可能エネルギー	第6編 現代の日本と世界 第3節 グローバル化と日本の課題 ③これからの世界と日本の課題 -持続可能な社会をつくる- ・持続可能な開発目標(SDGs), 地球温暖化の防止, 地球環境問題, クリーンエネルギー	<はじめに> 地球温暖化について考えよう	①～②	C(2) 現代の日本と世界	ア 次のような知識を身に付けること。 (イ) 日本の経済の発展とグローバル化する世界 高度経済成長, 国際社会との関わり, 冷戦の終結などを基に, 我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し, 国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解すること。

福岡県地球温暖化対策ワークブック 活用表

中学校・社会

教科書（出版社）				ワークブック		学習指導要領 （平成29年3月告示）	
帝国書院	教育出版	東京書籍	日本文教出版	項目	ページ	[公民的分野]	
[公民的分野]						[公民的分野]	
第4部 国際 第1章 国際社会と私たち 第2節 地球的課題とその解決 ③地球規模で広がる環境問題 ・地球環境問題，地球温暖化，国連環境開発会議（地球サミット），京都議定書，温室効果ガス，パリ協定 ⑤脱炭素社会に向けた取り組み ・脱炭素社会，カーボンニュートラル，3R（リデュース，リユース，リサイクル），循環経済（サーキュラーエコノミー） 章末（未来に向けて） 脱炭素社会の実現に向けて地方公共団体の挑戦	第6章 国際社会に生きる私たち 2節 国際社会が抱える課題と私たち ⑦「生命の星」を守るために ・地球温暖化，温室効果ガス，国連環境開発会議（地球サミット），持続可能な発展，京都議定書，パリ協定	第5章 地球社会と私たち 2節 さまざまな国際問題 ③地球環境問題 ・地球温暖化，温室効果ガス，気候変動，国連環境開発会議（地球サミット），京都議定書，パリ協定，カーボンニュートラル，持続可能な社会	第4編 私たちと国際社会 第1章 現代の国際社会と課題 第2節 国際社会の課題と私たちの取り組み ⑥地球規模の環境問題と国際協力 ・温室効果ガス，地球温暖化，国連環境開発会議，京都議定書，パリ協定，カーボンニュートラル（アクティビティ） 温室効果ガスの排出削減 節末（チャレンジ公民） 地球温暖化に対する政策について考えよう	<はじめに> 地球温暖化について考えよう	①～②	D(1) 世界平和と人類の福祉の増大	ア 次のような知識を身に付けること。 (イ) 地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解すること。
第4部 国際 第1章 国際社会と私たち 第2節 地球的課題とその解決 ④資源・エネルギー問題 ・化石燃料，再生可能エネルギー，水力，太陽光，風力，地熱，バイオマス	第6章 国際社会に生きる私たち 2節 国際社会が抱える課題と私たち ⑥これからの資源・エネルギー ・化石燃料，石炭，石油，天然ガス，再生可能エネルギー，太陽光，風力，地熱，波力，バイオマス，水力	第5章 地球社会と私たち 2節 さまざまな国際問題 ④気候変動と資源・エネルギー問題 ・石炭，石油，天然ガス，化石燃料，太陽光，風力，地熱，バイオマス，再生可能エネルギー（もっと知りたい） これからの日本のエネルギーを考える	第4編 私たちと国際社会 第1章 現代の国際社会と課題 第2節 国際社会の課題と私たちの取り組み ⑤限りある資源とエネルギー ・石油，石炭，天然ガス，化石燃料，地球温暖化，太陽光，風力，地熱，バイオマス，再生可能エネルギー（アクティビティ） 日本のエネルギーの未来	3 地球温暖化の原因 (1) 化石燃料の利用 4 地球温暖化に対してできること (5) 再生可能エネルギーの活用	9～10 23～24		

教科書（出版社）				ワークブック		学習指導要領 （平成29年3月告示）	
帝国書院	教育出版	東京書籍	日本文教出版	項目	ページ		
[公民的分野]						[公民的分野]	
第3部 経済 第1章 経済活動と私たち 第4節 財政と私たち ③社会資本と環境保全 ・循環経済（サーキュラーエコノミー）	第5章 安心して豊かに暮らせる社会 2節 これからの日本経済の課題 ①循環型社会に向けて ・循環型社会，3R（リデュース・リユース・リサイクル）	第4章 私たちの暮らしと経済 5節 これからの経済と社会 ①公害の防止から循環型社会の形成へ ・省資源，省エネルギー，3R（リデュース・リユース・リサイクル），循環型社会 ②経済の持続可能性と真の豊かさ ・脱炭素化，温室効果ガス，気候変動 （もっと知りたい） 公害のない社会へー水俣市を例に考える	第3編 私たちの生活と経済 第2章 国民の生活と政府の役割 ②財政の変化 ・地球温暖化，持続可能な社会	<はじめに> 地球温暖化について考えよう 5 自分たちにできることを計画して実践しよう	①～② 31～36	B(2) 国民の生活と政府の役割 ア 次のような知識を身に付けること。 （ア）社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解すること。 イ 国民の生活と福祉の向上を図ることに向けて，次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 （ア）市場の働きに身を委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察し，表現すること。	
第4部 国際 第1章 国際社会と私たち 第2節 地球的課題とその解決 ⑦貧困問題とその解消 ・食品ロス	第6章 国際社会に生きる私たち 2節 国際社会が抱える課題と私たち ④なくてはならない食糧と水 ・食品ロス	第5章 地球社会と私たち 2節 さまざまな国際問題 ①貧困問題 公正な世界を創る ・食品廃棄物，SDGs		4 地球温暖化に対してできること （3）食生活の工夫	19～20	D(1) 世界平和と人類の福祉の増大 ア 次のような知識を身に付けること。 （イ）地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解すること。	
第5部 課題探求学習 第1章 課題探求と私たち	終章 私たちが未来の社会を築く 1節 持続可能な未来の社会へ ①持続可能な未来と私たち ・SDGs（持続可能な開発目標）	終章 より良い社会を目指して ・持続可能な社会	第4編 私たちと国際社会 第2章 私たちの課題-持続可能な社会をめざして- ・持続可能な社会	5 自分たちにできることを計画して実践しよう	31～36	D(2) よりよい社会を目指して 持続可能な社会を形成することに向けて，社会的な見方・考え方を働かせ，課題を探究する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察，構想し，自分の考えを説明，論述すること。	

教科書（出版社）					ワークブック		学習指導要領 （平成29年3月告示）	
大日本図書	東京書籍	学校図書	教育出版	啓林館	項目	ページ		
【第1分野】							【第1分野】	
【3年】単元6 地球の明るい未来のために 2章 科学技術と人間 1 エネルギーの利用 ・電気エネルギーの利用、電気エネルギーのつくり方	【3年】単元5 地球と私たちの未来のために 第3章 科学技術と人間 2 カーボンニュートラルの実現に向けたとり組み ・石油、石炭	【3年】3-5 自然・科学技術と人間 ②エネルギーの供給 1 電気エネルギーの供給 ・エネルギー資源、石油、石炭、天然ガス	【3年】単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来 4章 エネルギー資源の利用と私たち 1節 生活に欠かせない電気 2節 エネルギー資源の開発と有効な利用 ○エネルギー利用の課題 ・化石燃料、石油、天然ガス、石炭、エネルギー資源	【3年】単元 エネルギー 運動とエネルギー 5章 エネルギー資源とその利用 1 生活を支えるエネルギー ・化石燃料、天然ガス、石炭、石油 2 エネルギー利用上の課題 ・地球温暖化	3 地球温暖化の原因 （1）化石燃料の利用	9～10	(7) 科学技術と人間	ア 日常生活や社会と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 （ア）エネルギーと物質
【3年】2 エネルギー利用の課題 ・化石燃料の利用と課題、再生可能エネルギー	【3年】単元5 地球と私たちの未来のために 第3章 科学技術と人間 2 カーボンニュートラルの実現に向けたとり組み ・水力、太陽光、風力、バイオマス、再生可能エネルギー	【3年】3-5 自然・科学技術と人間 ②エネルギーの供給 2 再生可能エネルギー ・太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス	【3年】単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来 4章 エネルギー資源の利用と私たち 1節 生活に欠かせない電気 2節 エネルギー資源の開発と有効な利用 ○エネルギー利用のこれから ・再生可能エネルギー、太陽光、風力、地熱、バイオマス	【3年】単元 エネルギー 運動とエネルギー 5章 エネルギー資源とその利用 3 エネルギーの有効利用 ・生物資源（バイオマス）、再生可能エネルギー、温室効果ガス、カーボンニュートラル、脱炭素社会	4 地球温暖化に対してできること （5）再生可能エネルギーの活用	23～24		⑦ エネルギーとエネルギー資源 様々なエネルギーとその変換に関する観察、実験などを通して、日常生活や社会では様々なエネルギーの変換を利用していることを見いだして理解すること。また、人間は、水力、火力、原子力、太陽光などからエネルギーを得ていることを知るとともに、エネルギー資源の有効な利用が大切であることを認識すること。
【3年】4 いろいろな物質の利用 A 有機物の利用 ・プラスチックの長所と問題点、プラスチックのリサイクル	【3年】単元5 地球と私たちの未来のために 第3章 科学技術と人間 1 さまざまな物質とその利用 ○プラスチックの性質 ○プラスチックの未来	【3年】3-5 自然・科学技術と人間 ③身のまわりの素材・技術 1 プラスチック 6 環境保全の取り組み	【3年】単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来 5章 科学技術の発展と私たち 1節 さまざまな物質とその利用 ○さまざまなプラスチック 2節 発展をつづける科学技術 ○科学技術の発展とエネルギー	【3年】単元 環境 自然と人間 2章 さまざまな物質の利用と人間 2 プラスチック	3 地球温暖化の原因 （1）化石燃料の利用	9～10	(イ) 自然環境の保全と科学技術の利用	④ さまざまな物質とその利用 物質に関する観察、実験などを通して、日常生活や社会では、様々な物質が幅広く利用されていることを理解するとともに、物質の有効な利用が大切であることを認識すること。
【3年】5 くらしを支える科学技術 B 科学技術の課題と未来 ・環境を守る科学技術、持続可能な社会と科学技術	【3年】単元5 地球と私たちの未来のために 第3章 科学技術と人間 3 科学技術の発展 ○持続可能な社会へ ・持続可能な社会	【3年】3-5 自然・科学技術と人間 ④持続可能な開発目標 1 持続可能な社会づくりの必要性 ・持続可能な社会、SDGs 2 脱炭素社会 ・カーボンニュートラル	【3年】単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来 終章 科学技術の利用と自然環境の保全 ○持続可能な社会をつくるために ・地球温暖化、気候変動、持続可能な社会	【3年】単元 環境 自然と人間 4章 人間と環境 3 人間の活動と自然環境 ・化石燃料、地球温暖化、温室効果ガス、脱炭素社会	<はじめに> 地球温暖化について考えよう	①～②		（イ）自然環境の保全と科学技術の利用 ⑦ 自然環境の保全と科学技術の利用 自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察することを通して、持続可能な社会をつくることが重要であることを認識すること。
【3年】終章 これからの私たちのくらし 1 持続可能な社会にする方法 ・調べ方の例、持続可能な社会をつくる方法を考えよう、発表して意見を交換しよう 2 未来へつながる	【3年】単元5 地球と私たちの未来のために 終章 持続可能な社会のために 1 人間の活動と地球環境 ・地球温暖化 2 持続可能な社会と科学技術 ・持続可能な社会 （社会につながる科学） 気候変動を知って行動に移そう			【3年】単元 環境 自然と人間 5章 持続可能な社会をめざして 1 これからの社会を担う ・循環型社会、3R、持続可能な社会、SDGs	4 地球温暖化に対してできること	13～28		イ 日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断すること。

教科書（出版社）					ワークブック		学習指導要領 （平成29年3月告示）	
大日本図書	東京書籍	学校図書	教育出版	啓林館	項目	ページ		
【第2分野】							【第2分野】	
【2年】単元4 気象のしくみと天気の変化 4章 日本の気象 3 自然の恵みと気象災害 ・気象災害、気象と農業の関係、気象災害を防ぐ、よりよい生活を目指して－SDGs－	【2年】単元3 天気とその変化 第3章 大気の動きと日本の天気 5 気象現象がもたらすめぐみと災害 ○気象災害に備えるために ・ハザードマップ	【2年】2-4 天気とその変化 第3章 日本の天気 ③ 気象に関わる恵み・災害 2 気象の変化がおよぼす災害	【2年】単元3 気象とその変化 5章 大気の躍動と恵み 1節 雨や雪、風が人間生活を襲うとき ○災害から身を守るために	【2年】単元 地球 地球の大気と天気の変化 4章 大気の動きと日本の四季 3 天気の変化がもたらす恵みと災害 ○天気の変化がもたらす災害に備える	2 地球温暖化の影響 （1）災害の発生 4 地球温暖化に対してできること （6）災害に備える	3～4 25～26	(4) 気象と その変化	ア 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 （エ）自然の恵みと気象災害 ⑦ 自然の恵みと気象災害 気象現象がもたらす恵みと気象災害について調べ、これらを天気の変化や日本の気象と関連付けて理解すること。
【3年】単元6 地球の明るい未来のために 1章 自然環境と人間 I 自然環境の変化 A 生物と自然環境 B 人間の活動と自然環境 ・地球規模での気候の変化、地球温暖化	【3年】単元5 地球と私たちの未来のために 第1章 自然のなかの生物 3 生態系と炭素の循環 第2章 人間による活動と自然環境 3 自然環境の開発と保全	【3年】3-5 自然・科学技術と人間 ① 自然環境と人間 3 人間活動と大気をめぐりつり合い ・地球温暖化、温室効果ガス	【3年】単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来 2章 自然環境と私たち 1節 身近な自然環境の調査 ○環境と人間の活動（大気と環境） ・温室効果、地球温暖化、気候変動、酸性雨	再掲 【3年】単元 環境 自然と人間 4章 人間と環境 3 人間の活動と自然環境 ・化石燃料、二酸化炭素、地球温暖化、脱炭素社会	5 自分たちにできることを計画して実践しよう	31～36	(7) 自然と 人間	ア 日常生活や社会と関連付けながら、次のことを理解するとともに、自然環境を調べる観察、実験などに関する技能を身に付けること。 （ア）生物と環境 ④ 自然環境の調査と環境保全 身近な自然環境について調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解するとともに、自然環境を保全することの重要性を認識すること。
【3年】単元6 1章 3 地域の自然災害 ・気象災害、自然災害から身を守る	【3年】単元5 地球と私たちの未来のために （地域とつながる） 自然災害と地域のかかわりを学ぶ ・自然災害、ハザードマップ	【3年】3-5 自然・科学技術と人間 ③身のまわりの素材・技術 7 自然の恵みと災害 ・自然災害	【3年】単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来 3章 自然災害と私たち ・自然災害、ハザードマップ	【3年】単元 環境 自然と人間 4章 人間と環境 2 自然が人間の生活におよぼす影響	2 地球温暖化の影響 （1）災害の発生 4 地球温暖化に対してできること （6）災害に備える	3～4 25～26		⑦ 地域の自然災害 地域の自然災害について、総合的に調べ、自然と人間との関わり方について認識すること。
【再掲】 【3年】5 暮らしを支える科学技術 B 科学技術の課題と未来 ・環境を守る科学技術、持続可能な社会と科学技術					5 自分たちにできることを計画して実践しよう	31～36		（イ）自然環境の保全と科学技術の利用 ⑦ 自然環境の保全と科学技術の利用 自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察することを通して、持続可能な社会をつくることが重要であることを認識すること。

教科書（出版社）				ワークブック		学習指導要領 （平成29年3月告示）	
東京書籍	大日本図書	大修館書店	Gakken	項目	ページ		
【保健分野】						【保健分野】	
3章 障害の防止 6 自然災害による障害の防止 ・ハザードマップ、防災情報、防災タイムライン （章末資料） 2 防災タイムライン	4章 障害の防止 4 自然災害による障害の防止 （資料） 自然災害の脅威 ・ハザードマップ （章末資料） 熱中症の予防と応急手当 ・熱中症	保健④ けがの防止と応急手当 4 自然災害によるけがの防止 ・災害情報 （特集資料） 気象災害から命を守る行動 ・ハザードマップ	4章 障害の防止 5 自然災害に備えて ・災害情報 （もっと広げる深める） 自然災害から身を守るために② ・ハザードマップ	2 地球温暖化の影響 （1）災害の発生 4 地球温暖化に対してできること （6）災害に備える	3～4 25～26	(3) 傷害の防止について	（ウ）自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。
5章 健康と環境 1 環境への適応能力 （発展）熱中症の予防と手当 ・熱中症 （巻末スキルブック） ⑦熱中症の応急手当	6章 健康と環境 1 環境への適応能力 ・熱中症	保健⑥ 環境の健康への影響 1 環境の変化への体の適応 ・熱中症 2 気象情報の適切な利用 ・熱中症警戒アラート、暑さ指数 （特集資料） 熱中症の予防と応急手当	6章 健康と環境 1 環境の変化と適応能力 ・熱中症	4 地球温暖化に対してできること （7）熱中症を防ぐ	27～28	(4) 健康と環境について	ア 健康と環境について理解を深めること （ア）身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があること。
5章 健康と環境 （章末資料） 1 地球温暖化による健康や安全への影響 ・地球温暖化、温室効果ガス、化石燃料	6章 健康と環境 6 環境問題への取り組み （章末資料） 3.循環型社会の実現に向けて ・3R、循環型社会 4.気候変動への対策 ・気候変動、緩和、適応、温室効果ガス、化石燃料	保健⑥ 環境の健康への影響 8 私たちの生活と環境問題 ・地球温暖化、循環型社会 （特集資料）気候変動と健康 ・気候変動、温室効果ガス	6章 健康と環境 7 環境の汚染と保全 ・地球温暖化 （探求しよう！） ②環境問題と私たちの生活や健康 ・脱炭素社会、カーボンニュートラル	全体	全ページ	(4) 健康と環境について	イ 健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。

教科書（出版社）			ワークブック		学習指導要領 （平成29年3月告示）	
東京書籍	教育図書	開隆堂	項目	ページ		
[技術分野]					[技術分野]	
1編 材料と加工の技術 3章 社会の発展と材料と加工の技術 2 これからの材料と加工の技術 ・持続可能な社会	A編 材料と加工の技術 3章 未来をつくろう 1 社会の発展と材料と加工の技術 ・持続可能な社会		4 地球温暖化に対してできること (4) 木材の利用	21～22	A 材料と加工の技術	(1) 生活や社会を支える材料と加工の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。 イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。
2編 生物育成の技術 3章 社会の発展と生物育成の技術 2 これからの生物育成の技術（資料） 生物育成の技術と環境との関わり ・持続可能な社会	B編 生物育成の技術 3章 未来をつくろう 1 社会の発展と生物育成の技術 ・持続可能な社会	B 生物育成の技術 ⑦森林の育成技術 ・二酸化炭素、脱炭素社会、カーボンニュートラル	4 地球温暖化に対してできること (4) 木材の利用 4 地球温暖化に対してできること (8) 主な福岡県の適応策	21～22 29～30	B 生物育成の技術	(3) これからの社会の発展と生物育成の技術の在り方を考える活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。 イ 技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えること。
3編 エネルギー変換の技術 1章 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 2 発電の仕組みと特徴 ・再生可能エネルギー、化石燃料（技術のとびら） 発電方法の最適化	C編 エネルギー変換の技術 1章 技術を見つめよう 4 発電について知ろう ・化石燃料	C エネルギー変換の技術 1-2 電気の供給と利用 ①発電の方法 ・化石燃料、再生可能エネルギー	3 地球温暖化の原因 (1) 化石燃料の利用 4 地球温暖化に対してできること (5) 再生可能エネルギーの活用	9～10 23～24	C エネルギー変換の技術	(1) 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解すること。 イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。

教科書（出版社）			ワークブック		学習指導要領 （平成29年3月告示）	
東京書籍	教育図書	開隆堂	項目	ページ		
[技術分野]					[技術分野]	
3 編 エネルギー変換の技術 3 章 社会の発展とエネルギー変換の技術 2 これからのエネルギー変換の技術 ・地球温暖化，持続可能な社会	C 編 エネルギー変換の技術 3 章 未来をつくろう I 社会の発展とエネルギー変換の技術 ・化石燃料，温室効果ガス，持続可能な社会	C エネルギー変換の技術 3 これからのエネルギー変換の技術 ②エネルギー変換の技術と私たちの未来 ・持続可能な社会	3 地球温暖化の原因 （1）化石燃料の利用 4 地球温暖化に対してできること （5）再生可能エネルギーの活用	9～10 23～24	C エネルギー変換の技術	(I) 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術について調べる活動などを通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 電気，運動，熱の特性等の原理・法則と，エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解すること。 イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。

教科書（出版社）			ワークブック		学習指導要領 （平成29年3月告示）	
東京書籍	教育図書	開隆堂	項目	ページ		
〔家庭分野〕					〔家庭分野〕	
2編 私たちの食生活 4章 日常食の調理と地域の食文化 Ⅰ 日常食の調理 （実習例）サステナブルクッキング に挑戦しよう		B 食生活 4 日常食の調理と地域の食文化 ①食品と調理 調理の前に知っておきたいポイント 環境に配慮した調理	4 地球温暖化に対してできること （3）食生活の工夫	19～20	B 衣食住の生活	(3) 日常食の調理と地域の食文化 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 （ウ）材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできること。
2編 私たちの食生活 5章 持続可能な食生活 Ⅰ 持続可能な食生活を目指して ○食品の廃棄 ○食品の輸送とエネルギー ・フードマイレージ、カーボンフットプリント、食品ロス、地産地消	B編 衣食住の生活 3章 調理と食文化 7 地域の食文化を知ろう ・地産地消	B 食生活 6 持続可能な食生活 持続可能な食生活をめざして ・食品ロス、二酸化炭素、カーボンフットプリント	4 地球温暖化に対してできること （3）食生活の工夫	19～20		（エ）地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできること。
3編 私たちの衣生活 Ⅰ章 衣服の選択と手入れ Ⅰ 衣服の役割 ・クールビズ、ウォームビズ 3章 持続可能な衣生活 Ⅰ 持続可能な衣生活を目指して ・リデュース、リユース、リサイクル	B編 衣食住の生活 4章 私たちの衣生活 5 衣服を計画的に活用できるようにしよう ・持続可能な社会、リデュース、リユース、リサイクル	B 衣生活 Ⅰ 衣服のはたらきと手入れ ②衣服は何でできているのだろう（発展）進化する素材 暑さ・寒さへの対応－高性能素材－ 2 衣服の選択と着方 ①新たに衣服が必要になったとき ・リユース、リサイクル 4 持続可能な衣生活 環境に配慮した衣生活 ・リユース、リサイクル、地球温暖化	4 地球温暖化に対してできること （2）衣服の着方の工夫	17～18		(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作 ア 製作する物に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできること。 イ 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。
4編 私たちの住生活 Ⅰ章 住まいの役割と安全な住まい方 5 災害への対策 ・防災、減災	B編 衣食住の生活 6章 私たちの住生活 5 災害に備えた安全な住まい方を考えよう ・ハザードマップ、防災	B 住生活 4 安全で健康的な住生活 ③災害に備えた空間 ・防災、ハザードマップ	2 地球温暖化の影響 （1）災害の発生 4 地球温暖化に対してできること （6）災害に備える	3～4 25～26		(6) 住居の機能と安全な住まい方 ア 次のような知識を身に付けること。 （イ）家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解すること。

教科書（出版社）			ワークブック		学習指導要領 (平成29年3月告示)	
東京書籍	教育図書	開隆堂	項目	ページ		
〔家庭分野〕					〔家庭分野〕	
4編 私たちの住生活 2章 持続可能な住生活 1 持続可能な住生活を目指して ・持続可能な社会, 省エネルギー		B 住生活 5 持続可能な住生活 未来を見すえた住まい方 ・持続可能な社会, IPCC, 地球温暖化, 再生可能エネルギー	4 地球温暖化に対してできること (1) 住まいの工夫 (5) 再生可能エネルギーの活用	15~16 23~24	B 衣食住の生活	イ 家族の安全を考えた住空間の整え方について考え, 工夫すること。
5編 私たちの消費生活と環境 3章 持続可能な消費生活 1 省エネルギーと持続可能な社会 ・化石燃料, 地球温暖化, 再生可能エネルギー, 循環型社会, 3R		C 消費生活・環境 4 持続可能な社会に向けて ①消費生活が環境に与える影響 ・カーボンニュートラル, 化石燃料, 再生可能エネルギー, 地球温暖化	<はじめに> 地球温暖化について考えよう 5 自分たちにできることを計画して実践しよう	①~② 31~36	C 消費生活・環境	(2) 消費者の権利と責任 ア 消費者の基本的な権利と責任, 自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解すること。
5編 私たちの消費生活と環境 3章 持続可能な消費生活 2 持続可能な消費生活を目指して ・持続可能な社会, SDGs	C編 消費生活・環境 2章 消費者の権利と責任 4 環境に及ぼす影響を考えて行動しよう ・地球温暖化, 二酸化炭素, 省エネルギー, 3R, 持続可能な社会	C 消費生活・環境 4 持続可能な社会に向けて ②地球環境を守る私たちの暮らし方 ・リデュース, リユース, リサイクル, リフューズ, リペア, カーボンニュートラル, バイオマス ③持続可能な社会の実現をめざして	5 自分たちにできることを計画して実践しよう	31~36		(3) 消費生活・環境についての課題と実践 ア 自分や家族の消費生活の中から問題を見いだして課題を設定し, その解決に向けて環境に配慮した消費生活を考え, 計画を立てて実践できること。